

スマートグラスで遠隔からの作業サポート

～時短・生産性を向上させる工夫～

① 困ったもんだ
最近、熟練者であるベテラン社員が立て続けに退職していき。今じゃ、ベテラン社員より若手社員の比率の方が大きいんだよ。

ベテラン社員はどのような理由で辞められるんですか。

② 違う場所にいることもあるから、移動も大変
熟練者には、若手社員についてもらって、そのノウハウや知識を教えてもらっているんだけどね。教えられる能力のある人が不足しているから、複数の若手社員を1人の熟練者が面倒を見なければならぬこともあって、負担を感じるようだ。

③ そんなことが
熟練者が若手社員につきっきりで技能継承をすることもいいですが、最新の技術では、若手社員にスマートグラス※やスマートフォンを携帯させ、その映像を熟練者と共有することで、遠隔地からの作業サポートを実現することも可能なんですよ。

一緒にいるような感覚で作業支援が可能ですよ。

④ 事務所から若手に作業サポートができるので負担が減りました
スマートグラスを導入し、若手社員に携帯させ、若手社員と熟練者で現場映像を共有するようにしたこと、熟練者の負担が大幅に軽減されました。また、スマートグラスでは、作業記録やタスク管理も簡単にできることから、生産性が向上しました。

スマートグラスで、ベテラン社員の負担が軽減され、離職率が低下した

◇：メガネをかける要領で頭部に装着して使用するウェアラブルデバイスのことである。AR（拡張現実）等に活用されることが期待されている。

取組事例紹介

業種：製造業 従業員数：40名

熟練者が不足しており、ノウハウが共有できていない。熟練者1名に対し、若手社員が複数名、また、熟練者は複数の工場に渡って、ノウハウを伝える必要があり、熟練者の負担が大きい状況である。

＜現場作業支援システムの導入＞

- 現場作業者にスマートグラスを装着させ、その映像を現場作業者と事務所にいる熟練者とで共有し、遠隔でも音声や画面上の赤ペン指示、作業員への資料提示により、現地にいるかのように作業現場の支援を可能とする。
- スマートグラス上で、必要な作業を手順ごとに表示し、作業者は表示された手順に沿った作業を可能とする。



【システム導入費用を助成！】
○働き方改革推進支援助成金（労働時間短縮・年休促進支援コース）
助成率 75%（一定要件の場合、80%）
上限額 最大200万円（一定要件の場合、最大440万円）
◆助成金等には成果目標の達成状況等、一定の要件があります。

- ・今までは、熟練者が現地に行って、作業員に指示を行っていたが、スマートグラスにより、熟練者は移動せずに作業員へのサポートができるようになったことから、熟練者の負担が減った。
- ・スマートグラスで日々の作業記録やタスク管理も可能となったことから、生産性が向上するとともに、労働時間が減少したことで、36協定の上限を引き下げた。

御社の働き方改革を「働き方改革推進支援センター」は応援します！

詳しくは当センター特設サイトへアクセス ▶

愛知働き方改革推進支援センター

検索



QRコードでもアクセス可能です！

愛知働き方改革推進支援センター【令和3年度 厚生労働省・愛知労働局委託事業】

相談窓口：名古屋市千種区千種通7-25-1 サンライズ千種3階（タスクール内）

☎ 0120-006-802

※受付日時：月～金曜日（祝日等を除く）午前9時～午後5時

✉ aichi@task-work.com